

議会のひろば

ギ カ イ

2020年(令和2年) 7月25日発行

特集 コロナ禍での議会の取り組み

No. 20
2020 JUL.



小井川小学校区



川岸小学校区



上の原小学校区



湊小学校区



神明小学校区



長地小学校区



岡谷田中小学校区

●表紙 市内小学校見守り隊

市内7つの小学校毎に見守りボランティアの方々が、雨の日も風の日も通学路に立って、登下校時の子どもたちを見守っています。そんな方々を校区毎に取材させていただきました。(突ゲキ生レポートより)

●もくじ

特集 コロナ禍での議会の取り組み

議員応援メッセージ 4

【令和2年第2回定例会】 5～13

・主な議案の審議結果 5～7

・一般質問(ダイジェスト版) 8～13

【正副議長・監査委員の役割と活動報告】 14～15

【新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書の提出】 15

議会の「フォト」広場 16

・飛び出せ議員!「突ゲキ生レポート」

編集後記 16

議会のひろば 第20号

発行日:2020年(令和2年)7月25日発行 発行:岡谷市議会 編集:議会広報広聴委員会
〒394-8510 長野県岡谷市幸町8-1 ☎ 0266-23-4811(議会事務局 内線:1711) URL <http://www.city.okaya.lg.jp/site/gikai/>

にやがしん(長岡)でやれん



再生紙・植物油墨を使用しています。
印刷:マルモ印刷株式会社

議会の フォト広場

飛び出せ議員!! 突ゲキ生レポート!

※新型コロナウイルス感染防止に配慮しながらマスクを外して取材しています。

【6月29日～7月8日】
小学校見守り隊の皆さんから
ご意見をいただきました。

- ①見守り隊をやっているうれしかったエピソードは?
- ②子どもたちへの応援メッセージ
- ③議員に望むことは?

【上の原小学校区】

【小島利彦さん(88歳)】
●見守り隊歴25年

- ①子どもたちと逢えるのがうれしい・中学生になってもあいさつしてくれる
- ②毎日、元気で事故にあわないように登校してほしい
- ③バイパスからの県道に横断歩道がほしい 歩行道路が左側にある

【川岸小学校区】

【橋詰和人さん(86歳)】
●見守り隊歴16年

- ①子どもたちから元気をもらえること
- ②友達と仲良くして下さい
- ③市民を大事に取り組んで下さい



【長地小学校区】

【高橋輝之さん(47歳)】
●見守り隊歴3年

- ①子どもたちとあいさつのふれあいができること
- ②あいさつをしっかりと元気よく、学校へ行ってもらいたい
- ③ボランティア活動に力を入れてもらいたい・通学道路に足のマークがほしい

【岡谷田中小学校区】

【小口雄平さん(72歳)】●見守り隊歴7年

- ①子どもたちが元気な挨拶を返してくれる・学校の様子を話してくれたり楽しく会話ができる・小さかった子ども達の成長していく姿をみられること
- ②元気で事故がないように
- ③岡谷に長く暮らしているので、住みよい街にしてほしい・若い人たちが元気になるまちにしたい



【小井川小学校区】

【西山周治さん(72歳)】
●見守り隊歴10年目

- ①常に子どもたちの元気と笑顔に励まされる・パワーもらえる
- ②横断歩道で止まるなどしっかりルールを守れば安全です
- ③岡谷は熱心 公約はしっかり徹底し「やる」と言ったことをちゃんと守ってほしい



【神明小学校区】

【今井崇裕さん(77歳)】
●見守り隊歴6年

- ①子どもとの会話で様子がわかる
- ②両親のありがたみを思い、家でも学校でもがんばれ!!
- ③目の前の事柄に対して、頑張してほしい



【湊小学校区】

【小口満明さん(76歳)】
●見守り隊歴15年

- ①子どもの明るい笑顔とはっきりとあいさつを返してくれること
- ②友達と家族を大切に、しっかりと勉強して、岡谷へ帰っておいで
- ③市民に寄り添い市民の声に耳を傾けて、議員活動に役立ててほしい



寄附行為の禁止

市議会議員が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されており、違反すると処罰されます。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

政治家は有権者に寄附を「贈らない」・有権者は政治家に寄附を「求めない」・議員から有権者への寄附は受け取らない。

【寄附行為に該当する事例】

■お祭り、運動会、親睦旅行会、会合等の行事や、入学式、卒業式の行事に対し、寄附、餞別、お祝い、差し入れ等をする。■個人に対し、お中元、お歳暮、入学祝、結婚祝を贈ること(議員自らが出席する結婚披露宴への祝儀や葬式における香典は除く)。■未成年者、社会福祉施設、市町村に対する寄附や年賀状、寒中見舞状などの時候のあいさつ状を出すこと(答礼のための自筆によるものを除く)。

●●●議会広報広聴委員会
今井 義信 委員長
副委員長 吉田 博文
委員 早出 壮子
康善 / 小松



▲「ラッキードクダミ」見つけました。

●●●編集後記
新型コロナウイルス感染症が全世界に拡大し、6か月を経ても収束の兆しが見えません。感染症拡大防止のため、社会生活に規制がかかり、あらゆる場面に深刻な影響が及んでいます。今は、新しい生活様式への移行をせざるを得ません。普通に人と会うことが、こんなにも遠いとは思っていませんでした。気を許さず、見えない敵と戦うには、3密の防止、うがい手洗い、マスク着用を確実に、自分自身だけでなく、かけがえのない家族、親しい人にして感染させないことと決めています。社会活動も徐々に再開されていきますが、第2波、第3波への備えを、油断することなくしていかねばなりません。世界中で波乱の2020年ですが、協力し合って乗り切っていくしかありません。市民の皆様とともに、議会も頑張っています。(今井義信)

○次号(第21号)の発行は、令和2年10月25日の予定です。

特集 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の国内発生を受け、岡谷市議会では新型コロナウイルスに感染しない、感染を広げないために行動指針を定め、議会が停滞しないよう状況に合わせた対応を行ってきました。

また、全員協議会や会派代表者会議にて、市の新型コロナウイルス感染症対策本部からの情報を共有するとともに、議会運営委員会にて議会の運営について検討してきました。

6月10日から24日まで行われた令和2年第2回定例会に向けて、議会運営委員会において、議会の運営方法や一般質問の方法について、調整を図ってきました。

岡谷市議会の取り組みについて、ご紹介いたします。

1.感染拡大防止のため、自らを律する行動指針を策定し、実行しています



窓を開けての会議の様子

岡谷市議会議員が感染した場合は氏名を公表することに決定

市議会議員が、新型コロナウイルスに感染した場合は、氏名を公表することになりました。議員として「感染拡大防止」に寄与しなければなりません。

新型コロナウイルスを始め、様々な感染症への防止対策について、「日頃からの健康管理」3密を避けるなどの「感染防止の徹底」、「感染が疑われる症状がある場合・新型コロナウイルス感染症の陽性者等が発生した場合の事務局への報告」など、議員として取るべき行動について決めました。

2.市民の声や要望を市側に伝えながら、国と県に対し意見書を提出しました

※国・県への意見書の内容は15ページをご覧ください。

全員協議会において市側より「新型コロナウイルス感染症に関わる対応について」の報告を受けました。

また、岡谷市の「新型コロナウイルス感染症対策本部」の決定事項について、会議終了後にメールにて全議員へ周知するとともに会派代表者会議において情報の共有及び意見交換を行いました。そこでの議員からの質問や要望は、市民への迅速な対応に支障をきたさないよう、個々に担当部署へ伝えるのではなく、窓口の一本化を図りました。

岡谷市議会全員協議会（市からの報告）

岡谷市新型コロナウイルス感染症対策本部

議会事務局

会派代表者会

各議員

コロナ禍での議会の取り組み

3.一般質問は通常どおり実施することとしました

（各会派の検討を経て議会運営委員会で決定）

5月15日、19日の2日間、議会運営委員会を開催し、コロナ禍での6月定例会での一般質問の実施について協議しました。コロナ禍における一般質問について、地方議会ではさまざまな対応が見られる中、岡谷市議会においても「中止・人数の縮小・時間短縮」と「通常どおり」とに意見が分かれました。議会運営委員会での協議の結果、「一般質問は、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、通常どおり行う」と決定し、時間短縮などの対応については、議会全体としては決めず、ルールの中で個々の判断の元、それぞれ中止または時間短縮等を行うこととしました。

それぞれの意見の内容

「中止または縮小で」

感染拡大は予断を許さない状況が続いている。リスクを回避しなければならない。市民に協力（理解）を求めながら、通常どおりの運用は道理に反している。一般質問をするなら、今 必要な質問のみ、質問時間も半分位で調整をするべき。

「通常通りで」

市民に応えるべく質問をする使命感から、今ふさわしい質問をするべき。こんな時だからこそ、議会の役割を果たして、コロナ問題をはじめ、市民が今一番聞きたいことを取り上げることで、議会としての役割に添えていくべき。

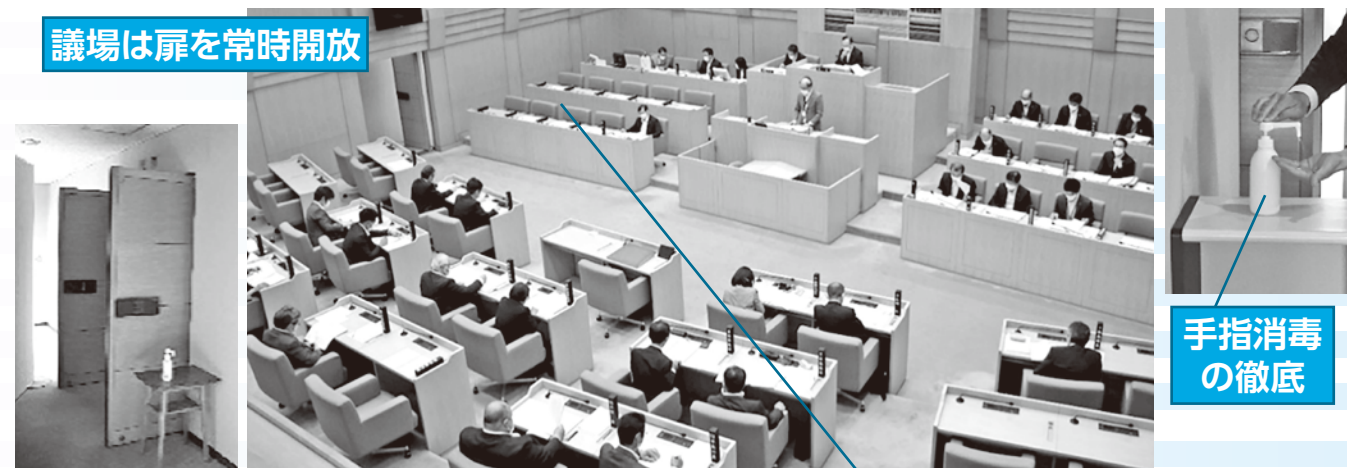
※各会派での協議を経て、お互い歩み寄れる部分を模索しましたが、「通常どおりだが、この協議における精神を無視しないような対応を各自が行う」ということで意見がまとまりました。

4.令和2年 第2回定例会（6月）の様子



マスクの着用

議場は扉を常時開放



手指消毒の徹底

説明員（市側）に必要最小限の出席を依頼

傍聴席は2つおき

令和2年 第2回定例会(6月)

令和2年第2回定例会が、6月10日(水)から6月24日(水)までの15日間の会期で開かれ、新型コロナウイルス感染症に関わる専決処分をはじめとする報告案件16件、人事案件等議案3件、条例議案4件、補正予算案件4件、契約案件3件、意見書3件の合計33議案等が審議されました。

主な報告と議案等審議経過をお知らせします。

◆報告第13号
専決処分の承認を求めることについて(令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第1号))

本会議での提案説明

新型コロナウイルス感染症への対策として、特別定額給付金給付事業、ひとり親家庭等生活支援給付金支給事業、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業、新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業、家庭学習支援図書カード配布事業に必要な経費を計上するほか、中小企業金融対策事業を追加するもので、総額52億2,071万8千円を追加したもので、早急に対策を講じる必要があったため、令和2年5月1日付で専決処分をしたもの。

※委員会付託を省略し、質疑の後、討論・採決が行われ、全会一致により、報告のとおり承認されました。

◆議案第32号
令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第3号)

本会議での提案説明(議案の内容)

新型コロナウイルス感染症への対応として、防災資機材整備事業(感染予防対策)、民生児童委員活動支援事業、障がい者事業所による園児用マスク製作・配布事業、感染拡大予防対策事業、妊婦さんのために衛生用品プレゼント事業、発熱外来設置事業、従業員の生活を守る雇用維持応援事業、生産性向上・新技術開発等チャレンジ奨励金、市内事業者向け各種支援パンフレットの作成事業、小中学校への感染対策用品の公費負担に必要な経費を計上するほか、商店街街路灯電気料等補助金、新型コロナウイルス感染症に伴う岡谷市緊急制度資金に必要な経費を追加するとともに、専決をした補正予算等、財源更正を行うもので、総額2億4,796万3千円を追加したもの。

主な議案の審議経過

※本会議での質疑の後、総務・社会・産業建設の3常任委員会に審査付託しました。

総務委員会での委員からの主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

問 防災資機材、簡易型避難所用テントの構造と購入費用は?

答 テントの構造については、縦横2メートル、壁面の高さが135センチメートル、真ん中の一番高いところが183センチメートル、素材はポリエステルで、簡単に組み立てができるものである。

新型コロナウイルス感染症の関係で改正された県の避難所運営マニュアルの、2メートルの間隔を世帯間であるという内容に沿って購入するものである。購入費用は、1基が税込み約1万円である。

問 テントの配置の仕方は?

答 避難所は、小中学校の体育館や市民総合体育館など、大きなスペースに配置することが好ましいと考えている。大きな避難所は、通路をしっかりと確保する必要があることから、テントが不足する場合は、間を2メートルあけて設置すること、多くの方が安心して避難できる状況をつくることができる。

問 小中学校の非接触型体温計の利用方法と購入時期の見込みは?

答 子どもたちは朝、家庭にて検温をして、検温チェックカードに記入をして学校へ持ってくる。検温チェックカードを忘れたり、具合が悪くなった場合に、保健室で使用する。また、非接触型体温計が流通の部分で品薄という状況は把握しているが、調達でき次第配布をしていきたい。

問 中学校の修学旅行のキャンセル料は?

答 中学校の修学旅行は例年4月に実施しているが、緊急事態宣言が出たことから、3月に延期を決めた。4校各校で契約していた旅行会社と相談して、会社の規則により2校キャンセル料が生じた。修学旅行の費用は学校の私会計の調整となるが、今回のキャンセル料については公費での負担となる。

問 秋以降の修学旅行の実施については?

答 中学校は秋から冬にかけて、また小学校は従来どおりの9月以降の実施を予定している。全国の感染状況の推移を注視しながら、基本的には修学旅行は大切な教育活動の一環であるので、必要であれば行き先の変更等内容を見直しつつ、可能な限り実施をしていきたい。



総務委員長



*OS:オペレーションシステム(コンピュータを動かすための基本となるソフトウェア)

※質疑の後、討論・採決が行われ、委員会では賛成多数により、原案のとおり可決されました。

産業委員会での委員からの主な質疑及び市側の答弁、並びに審査結果

問 雇用調整助成金制度活用サポートの個別相談会の開催頻度は？

答 7月は毎週火、土曜日の全8回を予定おり、8月以降についても、社会保険労務士と相談をしながら、丁寧な対応を進める。

※質疑の後、討論・採決が行われ、委員会では原案のとおり可決されました。

再び本会議において議案の審議

※総務・社会・産業建設の3常任委員会の各委員長から委員会での審査の経過と結果が報告され、議員より討論がされました。

○討論の概要

◆賛成討論(賛成意見)

新型コロナウイルスにより多大な影響を受けた事業者その他関連する方々に対して、一刻も早い対応が求められる中、きめ細かい予算計上がさ



産業建設委員長

れ、市の対応には感謝する。今後とも、県の動向を踏まえながら、困窮されている市民に対し、早急かつ丁寧な対応に最大限尽くしていただきたい。

また、市職員においては、新型コロナウイルスの対応で多大な労務負担があることは、十分承知しているが、職員一丸となってこの難局を乗り切っていたべくようお願いし、本案に賛成する。

さらに、岡谷市としての独自支援策の具体化をさらに進めることを期待し賛成する。

※本議案は、全会一致により可決されました。

◆議案第36号

岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正をする条例

本会議での提案説明(議案の内容)

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の公布、施行及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の公布、施行に伴い、市条例の一部を改正するものである。

※本会議での質疑後、社会委員会に審査を付託しました。

への緊急時の支援策として、要保護、準要保護家庭を想定し積算している。現在、各家庭のインターネット環境や端末の保有状況を調査している。

問 家庭学習用通信機器の通信費の負担は？

答 緊急時の貸し出しを想定しているため、通信用端末を使用するときのみ契約を行う、SIMフリーの機器の購入を検討している。

問 情報機器は、購入よりリース契約の方が安価では？

答 リース契約の場合、保守費用は市負担となり費用が高くなることから、今回は備品として購入していく。

問 情報機器の整備予定は？

答 全国一斉に購入される状況下で、ただちに調達できるものでもないので、年度内での調達を目標に、学習環境の充実を図ってまいりたい。

※質疑の後、討論・採決が行われ、委員会では原案のとおり可決されました。

再び本会議において議案の審議

※総務・社会委員会の各委員長から委員会での審査の経過と結果が報告され、全会一致により可決されました。

社会委員会での委員からの主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

問 条例改正の背景は？

答 令和元年12月に、制度の施行状況などを勘案した検討が行われ、全国的に連携施設等の確保が困難である状況を踏まえ、関係法令が改正されたことから、それに準じて条例改正を行った。

問 連携施設が確保できれば、緩和する必要性はないのでは？

答 今後、新規参入事業者が出てきた場合を想定して、国の基準に合わせるべきと判断した。

※質疑後、討論・採決が行われ、委員会では賛成多数により、原案のとおり可決されました。

再び本会議において議案の審議

○討論の概要

◆反対討論(反対意見)

岡谷市では、該当する保育施設において連携施設が確保されているが、今後、緩和された基準により連携施設が確保されないまま施設運営が行われることになれば、子どもたちの安全が脅かされ、また、保護者の不安を広げることになるため、本議案には反対する。

◆賛成討論(賛成意見)

家庭的保育事業等に関して、市が入園調整を行い、児童を優先的に取り扱う場合は、受け入れ先となる連携施設の確保は必要ないとする、「卒園した児童の受け皿確保の有効な取り組みを明確化」したもののほか、居宅訪問型保育事業に関して、各種事情で家庭における乳幼児の養育が困難な場合の「ひとり親家庭への配慮を拡大・充実するための追加要件を明確化」したものである。

いずれも、岡谷市の将来を展望して、必要な条例改正であることから、本議案に賛成する。

※採決により本議案は賛成多数により可決されました。



社会委員長

◆議案第40号
令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第5号)

本会議での提案説明(議案の内容)

子ども・子育て支援施設・学童クラブ等に置ける新型コロナウイルス感

○第2回定例会(全会一致により可決等された議案等)

議案番号	件名	議案番号	件名
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市市税条例等の一部を改正する条例)	議案第29号	岡谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例)	議案第30号	岡谷市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度岡谷市一般会計補正予算(第12号))	議案第31号	岡谷市農業委員会委員の任命について
報告第8号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例)	議案第32号	令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第3号)
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市市税条例の一部を改正する条例)	議案第33号	令和2年度岡谷市病院事業会計補正予算(第1号)
報告第10号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例)	議案第34号	選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例
報告第11号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	議案第37号	岡谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
報告第12号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	議案第38号	工事請負契約について
報告第13号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第1号))	議案第39号	令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第4号)
報告第14号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号))	議案第40号	令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第5号)
報告第15号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第2号))	議案第41号	財産の取得について
報告第16号	令和元年度岡谷市一般会計繰越明許費繰越計算書について	議案第42号	財産の取得について
報告第17号	令和元年度岡谷市水道事業会計予算繰越計算書について	議案第43号	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書
報告第18号	令和元年度岡谷市下水道事業会計予算繰越計算書について	議案第44号	新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書
報告第19号	令和元年度岡谷市病院事業会計予算繰越計算書について	議案第45号	新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書

○第2回定例会(賛否が分かれた議案等)

議案番号	件名	付託委員会	審議結果	渡辺 太郎	藤森 博文	山崎 仁	田村 文子	吉田 浩	中島 秀明	中島 保明	今井 義信	早出 すみ子	今井 秀美	武井 友則	今井 康善	早出 一真	小松 壮	大塚 秀樹	笠原 征三郎	遠藤 真弓	浜 幸平
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)		承認	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	欠	×	○	○
議案第35号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例	社会	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第36号	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	社会	原案可決	議長	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○

議長:議長職のため採決に加わらない ○:賛成 ×:反対 欠:欠席

令和2年 第2回定例会(6月) 議場の再現 (ダイジェスト版)



※岡谷市ホームページから、一般質問の詳細や録画映像の動画を見ることができます。パソコン、スマートフォンからいつでもご覧いただけます。



目次

1. 中島 秀明……8ページ
2. 遠藤 真弓……9ページ
3. 吉田 浩……9ページ
4. 田村みどり…10ページ
5. 今井 義信……10ページ
6. 早出すみ子…11ページ
7. 笠原征三郎…11ページ
8. 今井 康善……12ページ
9. 浜 幸平……12ページ
10. 今井 秀実……13ページ
11. 武井 友則……13ページ

●一般質問とは…
議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めるなど、質問をすることです。
年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

●一般質問の順位は、定例会招集日の開会前(3月定例会は除く)に、くじで決めます。

※一般質問は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用で行われました。

※掲載は質問順です。
※掲載内容は質問者の文責によるものです。

Qポスト・コロナにおける 市内産業の出口戦略

A動向を注視し、必要な対策を打つ



中島 秀明

Q新型コロナウイルス禍による市内の 産業の状況と今後の対策は？

A 市内の商業は、休業要請を受けた業種で売上が前年比9割減等、厳しい状況にある。景気動向調査によると、

新しい生活様式に向けた取組

Qテレワークの今後の進め方は？

A テレワークは新型コロナウイルスの拡大防止と共に、企業の業務効率改善や労働時間削減等のメリットがあるが、市内

製造業では全6業種で「業況の悪化」が多数で、受注減を挙げる企業も8割と最も多く、企業収益にも影響が出ている。求人倍率も6年ぶりに1.2倍台に低下し、景況・雇用ともに非常に厳しい状況にある。今後は、動向を注視しながら必要な対策を打っていく。

★要望：市内経済の早期回復に向けて明確なビジョンによる戦略的でタイムリーな施策と取り組みを。

Qデリバリー・テイクアウト事業 の内容と今後の方針は？

A この事業は、外出自粛営業時間短縮等に伴う店舗利用の減少に対して期間を6月末までに限定した取り組みだが、今後、国・県の動向、利用状況や飲食店等の店舗営業の状況、事業者

事業者の状況を十分に把握することが重要。今後、新型コロナウイルスの影響に関する大規模なアンケートを予定しており、テレワーク等の利用状況やニーズを把握して必要な施策を検討していく。

★要望：テクノプラザおかやを拠点にデジタル化推進の環境と人材による仕組みづくりに前向きな検討を。

新型コロナウイルス感染症に伴う各種支援のご案内【1】

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活支援に関する電話相談窓口
※相談時間：10時～17時(土日祝日を除く) ※相談料はかかりません。
●相談窓口：市役所 市民生活課 生活支援係(電話：0266-23-4811) 市役所 市民生活課 生活支援係(電話：0266-23-4811)

支援内容	対象者	申請方法	問い合わせ先
【1】生活支援(生活保護)に関する相談	生活保護受給者	市役所 市民生活課 生活支援係	0266-23-4811
【2】子育て支援(子育て支援金)に関する相談	子育て世帯	市役所 子育て支援課	0266-23-4811
【3】高齢者支援(高齢者支援金)に関する相談	高齢者	市役所 高齢者支援課	0266-23-4811
【4】障害者支援(障害者支援金)に関する相談	障害者	市役所 障害者支援課	0266-23-4811
【5】その他(生活困窮者支援)に関する相談	生活困窮者	市役所 生活困窮者支援課	0266-23-4811

会派おかや未来研究室発行の
各種支援策リスト 抜粋

Qコロナ禍、在宅勤務の 状況は？

A大規模アンケートを 実施予定



遠藤 真弓

Q 今後の新型コロナウイルス感染症拡大防止に備え、在宅勤務を実施するために就業規則の変更を行う企業があると考えるか？

A 在宅勤務を含めたテレワークは有効な対策と考える。国の補助金の活用と併せて、就業規則の変更を行う事業者も出てくると考える。

Q 岡谷市女性雇用促進就業環境整備支援事業には、就業規則の変更に係る経費の助成内容が含まれているが、相談・申請は未だゼロ。今後どのように事業周知していくのか？

A 市内事業者の社長や総務、現場担当者に対し、先行事例等も交えながら周知に努める。

★要望：実施予定の大規模アンケートでは、在宅と保育の観点からもしっかり調査してほしい。

市営住宅の入居

Q 市営住宅入居には「市税等の滞納をしていない者であること」が条件にあるが、滞納者は生活に困っている可能性が高い。どのような措置をとっているのか？

A 入居相談の中で生活保護制度につなげたり分納誓約をしたうえで入



子育て世帯の入居支援の物件
中村A-2市営住

居を認めている。

Q 同じ申込者で何度も落選している方の救済措置を条例に規定できないか？

A 救済措置の条例規定は考えていない。希望に近い部屋を優先的に紹介するなど配慮している。

Q 新規の子育て世帯支援事業は、ひとり親世帯、または小学校修了前の子供三人以上含む世帯の入居を優先させるようだが、この優先措置を条例化してはどうか？

A 優先は事業を実施する間の措置で現在事業期間は定めていない。条例化は考えていないが、新規事業なので様子を見る。

Qコロナ禍の高齢者福祉 事業の開催状況は？

A再開に向けた取組を推進



吉田 浩

Q 市が実施している高齢者福祉関連事業全般に関する新しい生活様式への対応は？

A 中止している介護予防教室や生きがいデイサービスなどの通いの場

は高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進のための重要な事業。現在、様々な事業についてどの様な形で再開が可能か検討している。新型コロナウイルス感染症の影響が今後も存続し続けることを見込み、重症化のリスクの高い高齢者が参加する事業であることも考え新しい生活様式の定着に向けた取組みを推進し、各種事業の実施・再開に向けた検討に努める。

コロナ禍のフレイル対策

Q 要介護一歩手前であるフレイルに関する市の捉え方と対策は？

A 高齢化が進む本市は第3次岡谷



介護予防教室の様子

市健康増進計画の基本理念である健康寿命の延伸を目指すためにもフレイルへの対策と予防は重要な課題と捉えている。フレイル予防の3つの柱、運動・栄養・社会参加に沿った各種事業を実施している。

Q フレイル予防のために人とのコミュニケーションは重要だが、コロナ禍の外出自粛で高齢者の交流の機会の確保が難しい。タブレット等を活用した交流の取組みもあると聞くが市の考えは？

A 新しい生活様式の定着推進のためICTによるコミュニケーションの必要性も高まっているといわれている。現時点でタブレット活用やコミュニケーションツールの導入予定はないが、今後は先進地の取組みなど参考に研究を進める。

★要望：フレイル予防対策として該当者本人はもちろん、家族や近隣住民にも意識啓発をお願いしたい。

Q アクセス道路の令和5年度の全線開通は？

A 県に早期の完成を要望中



田村みどり

Q (仮称)諏訪湖スマートインターチェンジ整備事業の今年度の計画は？

A 県事業は、諏訪建設事務所がアクセス道路の詳細ルート案を、地元小坂

区で区民に提示、説明する。工事予定地内の湧水・地質調査と埋蔵文化財調査を開始。アクセス道路予定地の土地所有者立ち合いのもと、敷地境界を確認の上、測量を行う。一番大きな負担をおかけする居住用家屋の移転補償は、所有者に個別説明と家屋調査を実施中。今後、補償交渉を行う。ネクスコ日本と岡谷市の事業は、アクセス道路と諏訪湖サービスエリアをつなぐアップロード道路の測量と設計を行い、設計ができた次第、地権者に説明し、用地買収幅の確定後、用地買収、補償を行う予定。



地元は県道全線開通を要望

Q アクセス道路である県道の令和5年度全線開通に向け障害になる理由と完成時期を明確にすることは？

A 県道岡谷茅野線と諏訪辰野線と結ぶアクセス道路は2・4キロと距離が長く、地形的にも困難な工事が予想される。暫定的に岡谷側のみ開通することが想定される。引き続き全線開通に向けた工期短縮を、県と協議し協力する。

★要望：一大プロジェクトである(仮称)諏訪湖スマートインターチェンジ事業により、地元湊に住む市民の生活

に支障が出ることは絶対困る。特に湊地区内の交通安全対策は万全を期すよう、強く、強く要望する。



小坂公園より諏訪湖を望む

Q 現在の景気動向の状況は？

A 全ての業種で悪化している



今井 義信

景気動向

Q 制度資金の現状も含め、企業への資金繰り支援の状況は？

A 市内事業者に対し、制度資金を通じて、資金繰りの安定化、既存借り入れ

の返済負担軽減の支援を行っている。

Q 雇用を守るための支援は？

A 国・県・市の支援の積極的活用促進や、商工会議所と連携し、各種支援策への申請サポートを実施している。

Q 今後の支援の在り方は？

A 今後は感染防止と、社会経済活動の両立を図るため、即効性のある対策と、先を見据えた中・長期的対応を進めて行く。

新技術への対応

Q 次を見据えた新技術への対応は？

A 今後、需要が見込まれる次世代通

信規格の5Gに関連する分野をはじめ、3Dプリンタによる金型成型等、情報提供や相談に努めている。また、長野県工業技術総合センターと連携した支援や販路開拓を行っている。



困りごとのご相談は、テクノプラザへおかけ。☎21-7000

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う商業支援

Q 新型コロナウイルス感染症の対策は？

A 岡谷市民病院スピード対応



早出すみ子

Q 感染者受け入れ準備は？

A 5名の患者を受け入れた際は、安全性を確保し、一部一般病床を転換した。来院者には発熱トリージ、面会禁止等により感染予防策の徹底を図った。

Q 休み明けの対応には先生の加配が必要では？

A 加配があればありがたい



笠原征三郎

Q 新型コロナウイルスによる長期の休校によって学力の面で新たな格差を生じているのではないかと

A 一人ひとりの状況を把握して、丁寧な対応をしていく。

Q 風評被害は？

A 心ない言葉もあったが、多くの激励メッセージが寄せられている。

Q 経営状況は？

A 患者数の減少により前年同期に比べ、4月は約7,150万円の減収となり、5月以降も減収が続く見込みである。

Q 国、県への要望は？

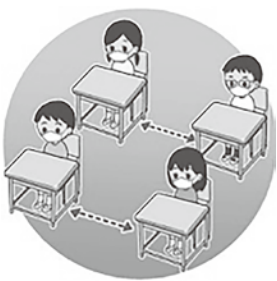
A 減収相当額の補填や人的支援を要望している。

92.9%の給付状況

Q 特別定額給付金の未申請世帯への対応は？

Q 丁寧な授業を行う、またソーシャルディスタンスを確保するには20人程度の授業が必要で、そのためには先生の加配が必要では？

A 20人程度の授業を行うには、先生の加配があればありがたい。しかし、教員不足で大変難しい。



休校中の子どもの食事状態

これから生活スタイル

A 6月16日現在1,580世帯が未申請となっている。7月に勧奨通知を送付する予定である。

Q 定着への市の取り組みは？

A ホームページや広報おかわで周知と実践をお願いする。第2波、第3波の懸念もあり引き続き注意喚起を行う。

Q マスク、消毒液の供給状況は？

A マスク、消毒液とも流通は円滑である。次亜塩素酸水は、市で無料配布を実施している。

★要望：高齢者に熱中症予防に適したマスクの配布を要望する。

Q 長期間の休校となったが、この間の子どもの食事の実態を把握されているか？

A 家庭内のことであり、プライバシーもあるので把握は難しい。電話連絡や家庭訪問などで健康状態を確認した。

Q 就学援助を受けている家庭には「昼食費」としての援助が必要か？

A 今後、長い休暇の場合選択肢の一つとして考えられる。

コロナ禍での図書館の対応

Q 岡谷図書館への入館時に、氏名などの記入が必要とされているが、

休校中の子どもの居場所

Q 休校中の学童クラブの利用実態は？

A 休業日対応を2か月余続け、前年春休みの6割の利用者であった。学校の先生方の協力があり、指導員、補助指導員は余裕を持って子どもと接することができた。

オンライン授業始まる

岡谷市看護専門学校

Q 今年度のカリキュラムの変更は？

A 4月末から、5月末までズームというアプリで遠隔授業対応をした。6月から、実習を開始する。一部は学内実習に切り替えていく。

Q 個人のプライバシー保護の面から見てどの様に考えているか？

A 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本人の同意を得て行っている。感染者が発生した場合、迅速な対応をする必要があるため、お願いしている。

Q プライバシー保護に基づいた、管理方法と廃棄時期は？

A 単票で記入いただき、施錠した書庫で保管し、一か月経過後廃棄する。

※この他に、農業や雇用問題、また側溝のグレーチングの問題についても質問をしました。

Q コロナ対策推進宣言と 経済対策の取り組みは？

A 感染防止策の補助と県との連携



今井 康善

Q 商業活性化へ向けて、計画の対 応状況と今後の進め方は？

A 商業の魅力向上に向けた設備投資について、店舗改修等への支援やキャッシュレス決済の推進に努めて

いる。岡谷商工会議所によりスタートした「オカヤベイ」の普及拡大を支援して「新しい生活様式」の実践にむけて後押しをしていく。

Q 県の支援制度を活用したプレミアム商品券発行は？
A 有効活用できるよう検討。
★要望：GOTOキャンペーン等今後予定されている支援事業を十分活かして、安全性との両立で地域のマインドを高める施策を。

Q 立地適正化計画の推進方法は？

A 都市構造も総人口に占める人口

集中地区です。岡谷市は、コンパクトなまちを形成している。今後、より暮らしやすさを実感できるまちの実現を目指し、長い年月をかけて居住や都市機能を誘導していく。

Q 「ウォーカーブル推進都市」に参加したが今後の取り組みは？
A 本年3月に加盟した。岡谷商工会議所で行っている「おかやるく」などの事



岡谷市立地適正化計画
令和2年5月18日計画公表

業も参考に研究していく。都市再生整備計画区域やまちなかウォーカーブル区域の設定などを行うとともに、事業計画を作成する必要がある。

Q 都市再生整備計画の作成について の所見は？

A 歴史や文化、自然環境等の特性を生かしたまちづくりを図ることができ、岡谷市立地適正化計画の公表も、事業採択の条件である。有利な支援制度を活用していきたい。

★要望：駅周辺、諏訪湖サイクリングロードや水辺の活用、都市機能強化等の方針を示すためにも是非推進してほしい。

Q 「マイナポイント」を活用 した地域活性化策は？

A 消費活性化策を実施



浜 幸平

Q 「マイナポイント予約・申し込み」 の登録支援などが必要ではないか？

A マイナポイントの申し込みは令和2年7月からになる。ポイント還元

となったおり、マイナンバーに関する相談は、市民生活課の専門窓口を設置し、随時対応していく。

Q 「マイナンバーカード」の発行状況は？
A 5月の申請件数は前年同月比で446件増の492件となっている。特別定額給付金のオンライン申請が注目を浴びた影響ではないかと思われる。5月末で交付率15.2%交付件数7,500件となっている。

Q 9月より25%ポイント付与されるが、消費拡大・商業活性化にどう連動させるのか？
A まずマイナンバーカード取得率

を大幅に増加させることと、キャッシュレス対応の店舗を増やしていくことの双方を推し進めていく。

GIGAスクール構想は

Q 小・中学校におけるICT推進の取り組みと課題について
A 国の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」に基づき整備を進めてきた。ICT環境は、情報機器を整備して終わりではなく、様々な場面でも有効活用が目的で、研修などを通じて教職員の対応力を高めていくことが課題と考えている。

Q 統合型校務支援システムの必要性と教職員の働き方改革は？

A システム化により効率性を高めることは長時間勤務の軽減につながるが、働き方改革に有効な手段とされている。現在、県において共同調達等のモデル事業が進められており研究を進めている。本市が導入しているものは統合型ではないが現在進行中の契約があるので次の更新に合わせ統合型校務システムへの移行等については判断していきたい。



子どもたち一人一人の個性に
合わせた教育の実現に向けて…

Q 新型コロナ減収で 国保税減免は？

A 収入3割減なら減免となる



今井 秀実

Q コロナ減収で、市税の納税猶 予・減免は？

A 収入2割減なら一年間徴収猶予の制度が創設されている。中小業者の固定資産税、都市計画税は、事業用

家屋と償却資産について、前年比収入5割以上減なら、全額免除、3割から5割減なら2分の1免除となる。

防災対策の充実・強化

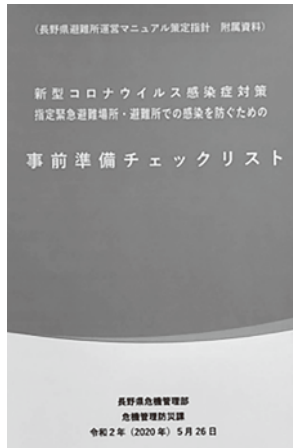
Q 改定された新しい防災ガイドブックの活用が期待される。新型コロナで、各区の説明会は予定どおりには進んでいない。対応は？
A 区と相談して開催時期を検討していきたい。出水期前に、シルキータンネルで防災ガイドの説明をしていくこととした。

Q 防災ラジオ、防災メールを一層、普及拡大していくことが、重要。普及状況は？

A ラジオは1万4,580台販売し、おおむね75%の世帯に普及している。メールは、8,281人が登録している。

Q 避難所の開設、運営は、新型コロナも考慮して、準備しなければならないが？
A 5月に「県避難所運営マニュアル」が改定された。2メートルの身体的距離の確保などが追加。これを基本に市のガイドラインを見直していく。

Q 2メートル間隔の確保なら、51か所の避難施設では足りない。どう、対応するのか？
A 施設ごと想定している受け入れ



長野県避難所運営マニュアル
コロナ事前チェックリスト

数が不足することとなるので、国・県などの公共施設などの連携を考えている。また、避難所のほかに安全な場所にある親せきや知人の家、車中避難など分散避難も有効と考えている。

Q ICT教育の サポート体制は？

A 情報教育指導員がサポート



武井 友則

Q ICT教育の環境整備に伴い必 要となってくる機器の面でサポ ー

A 端末導入後のメンテナンス方法等については費用対効果を検証し、

来年度の予算編成までに考え方を等調整していく。

★要望：民間企業の活用など検討しながら早期のサポート体制の実現を！

学校での感染症防止策

Q 校内で体調不良になった場合の対応は？
A 感染が疑われる症状が確認された場合は、他者の入室制限や別部屋の確保等により対応する。

★要望：学校に対して必要な支援と、体調の悪い子どもが保健室を利用することに躊躇しないような対応を。

感染症予防と熱中症対策

Q マスクをしていると熱中症のリスクが高まることを考えられるがどのような対応をとるか？
A 基本的にはマスクを常時着用することが望ましいが、熱中症など、健康被害が予想される場合はマスクを外してもよいとしている。

こまめな水分補給や換気を徹底しながらエアコンを利用し、熱中症対策に留意していく。

Q 登校時のマスクの着用についてはどうなっているか？
A 登下校時もマスクの着用をすす

めているが、息苦しさや暑くてたまらない場合などは外してもいいと子どもや保護者には伝えている。事情によりマスクを外している子どもたちについて地域の方にも理解してもらえよう伝える必要を感じている。

きめ細やかな配慮で子どもたちを守っていく。



親子おそろいのマスク

二役の取り組みを報告します。

正副議長及び監査委員の役割と活動報告

岡谷市議会では、一般質問は、正副議長は行わない、また監査委員にあつては、自ら監査委員として関与した事項について行わないのが例となっています。そこで一般質問ができない正副議長と、監査委員の役割と活動の内容をご報告いたします。

●議長の役割

議長は、議会の選挙で選ばれ、議場の秩序を保持し、議会の事務を統理する等の役割があります。

議長▶渡辺太郎



市議会は市政を進めていく上で重要な条例や予算等を審議・議決を行うなど岡谷市の将来を決定する議決機関です。また、市政が正しく運営されているかどうかチェックすることも市議会の大切な仕事です。議長は議会を代表する重要な立

場であり、その責任の重さに日々、緊張しながら仕事をしています。議会を代表して様々な会議等に出席しますが、今年は新型コロナウイルス感染症防止のため、中止や縮小または書面決裁等により、これまでと状況が一変しております。

2月25日に岡谷市新型コロナウイルス感染症対策本部が設置された後、市と情報共有しながら、議会として議員の感染防止の行動指針を定めたことをはじめ、会派代表者会議を適宜開催し、岡谷市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の詳細報告、情報交換を積極的に行っています。また、議員自らが感染した場合、不確実なうわさや憶測等による混乱を避け、また感染症の拡大防止を図るため、氏名の公表をすることも決定しました。

6月定例会については、3密を避けること、マスクの着用、傍聴席の間隔確保や一般質問の実施等について議会運営委員会で検討し、できる限りの対応を行いました。6月には議会内に「三密」環境も整

備されましたので有効に活用していきたいと思えます。ウィズコロナ、アフターコロナ時代を踏まえた新しい生活様式の実践に努め、議会として感染防止と社会経済活動の両立を推進し、変革・激動の時代に対応した岡谷市の持続可能な発展と市民福祉の向上に尚一層全力で取り組んでまいります。

●副議長の役割

副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるときや、欠けたときに議長の職務を行います。

副議長▶藤森博文



議長の補佐
●議会運営を補佐できるよう研鑽の日々です

補佐役のあり方を模索し、議長からの指示待ちではないという考えで行動しています。

他議会の先進的な取り組みも調査しながら、議会の活性化等について、議長への建設的な提案、議会運営全般の補佐ができるよう行動しています。

●「一般質問」進行の一部を代行します

先例により、午後最初に登壇する議員のみ議長に代わって進行しています。

※正副議長は、先例により「一般質問」は、行わないとなっています。

●議会の広報、広聴の企画・運営
●議会だよりの編集・発行を担当しています

議会広報広聴委員の英知を結集して編集に努めています。手に取って読んでもらえる、議員の考えがわかる、市民が登場する等をコンセプトに、今年度よりリニューアルしました。

●議会報告会、意見交換会の企画・運営を担当しています

コロナ禍の今年度は、広報広聴委員の英知を結集して意見交換会の開催にも力を入れ、感染状況を注視し、年度末までの実施を予定しています。

委員会や諏訪広域連合議会活動等に参画

社会委員会に所属し、議会運営委員会をはじめ、会派代表者会議、諏訪広域連合議会、市社会福祉協議会、理事会等の活動に参画しています。

岡谷市議会全会一致で「新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書」を国・県に提出！

新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書(抜粋)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、政府においては、特別措置法に基づく「緊急事態宣言」の発出・解除などの対応を進め、新しい生活様式を定着させながら、経済活動も徐々に再開されているところありますが、第2波・第3波は必ず来るとも言われ、またワクチンが開発・利用できるようになるにはかなりの期間が必要であることなど、事態が収束する見通しはいまだ見え、国民の健康や経済への不安は払拭されていません。

国民や自治体の切実な声を受けて、支援の強化が盛り込まれた令和2年度第2次補正予算も成立しましたが、現在の深刻な状況を踏まえれば、さらなる対応、支援の拡充が求められます。

我が国がこれまで経験したことのないこの難局に対し、引き続き、国と地方が一体となり、状況に応じた対策を迅速かつ的確に講じていく必要があります。

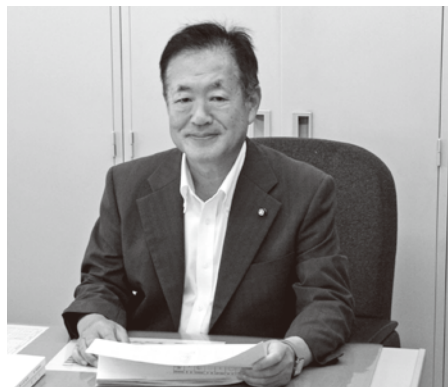
よって、国におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策に関して、より一層、推進されるよう強く要望します。

令和2年6月24日

●監査委員の役割

監査委員は、市の財務に関する執行や経営に係る事業の管理を監査します。

監査委員▶中島保明



今井市長から監査委員の辞令をいただいたから早や1年が経ちました。6月25日は、令和元年度の企業会計の決算審査が行われましたが、病院事業管理者や看護部長さんから新型コロナウイルス感染症に携わる皆さんの様子をお聞きすることができました。そのような貴重な時間に

立ち会えることに感謝するとともに監査委員としての責任を改めて考えさせられているところです。さて、監査委員について、紹介します。

監査委員とはどんな仕事？

通常、毎月25日に行われる例月出納検査、6月、7月に行われる決算審査、11月に行われる定例監査、行政監査(以下監査等)。突き詰めて言いますと、市の事業が岡谷市民の福祉の増進に寄与しているかをチェックして市長、議会、関係委員会等に報告する仕事です。

監査委員体制

識見を有する方として選任された、国税庁出身の宮坂正志氏と元岡谷市職員の小口明彦氏(代表監査委員)のお二人と、議員から選任された私の計3名です。

監査等の日程は議会の日程とは重なりませんが、監査委員の仕事のために議員の仕事ができなくなることはありません。

監査等の進め方と雰囲気

まず、課、室及び局単位で、事業の状況および収支の報告がされます。それに対し、識選監査委員の私、次に宮坂監査委員、最後に小口代表監査委員の順で質疑応答を行います。監査される職員の方皆さんも我々監査委員も、緊張感を持って真剣に取り組んでいます。